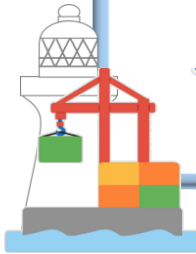


輸出が好調！？

御前崎港を調査してみた



御前崎港は、日本のほぼ中央、東京、大阪のほぼ中間に位置し、静岡空港まで約 30 km 圏内にある静岡県の港のひとつです。今回、御前崎港の輸出額が近年増加傾向にあり、貿易統計の観点から港の特色、近況を調査しました。

1. 御前崎港の歴史

御前崎港は駿河湾の入口に位置し、季節風に対して静穏な水域を有するため、古くから船舶の避難場所として利用されており、昭和 11 年（1936 年）に避難港の指定を受けました。戦後の昭和 23 年（1948 年）から建設の第一歩を踏み出し、昭和 26 年（1951 年）に港湾法に基づく地方港湾の指定を受けました。その後中央埠頭、東埠頭、工業用地等が整備され、昭和 46 年（1971 年）には関税法に基づく開港の指定を受けました。昭和 50 年（1975 年）には港湾法に基づく重要港湾に指定され、静岡県中西部地域における物流、産業開発の拠点として船舶の大型化に対応するため 10 年の歳月をかけ、昭和 60 年（1985 年）に西埠頭へ水深 12m 岸壁 2 バースが完成しました。平成 9 年（1997 年）からは完成自動車の輸出が始まり、これまで着実に港の利用拡大が図られてきました。令和 3 年（2021 年）には開港 50 周年を迎え、物流だけでなく、人々が集う賑わいの場としても利活用されています。

参考：御前崎市 HP『御前崎港の沿革』『御前崎港開港 50 周年記念事業』



御前崎港ロゴマーク

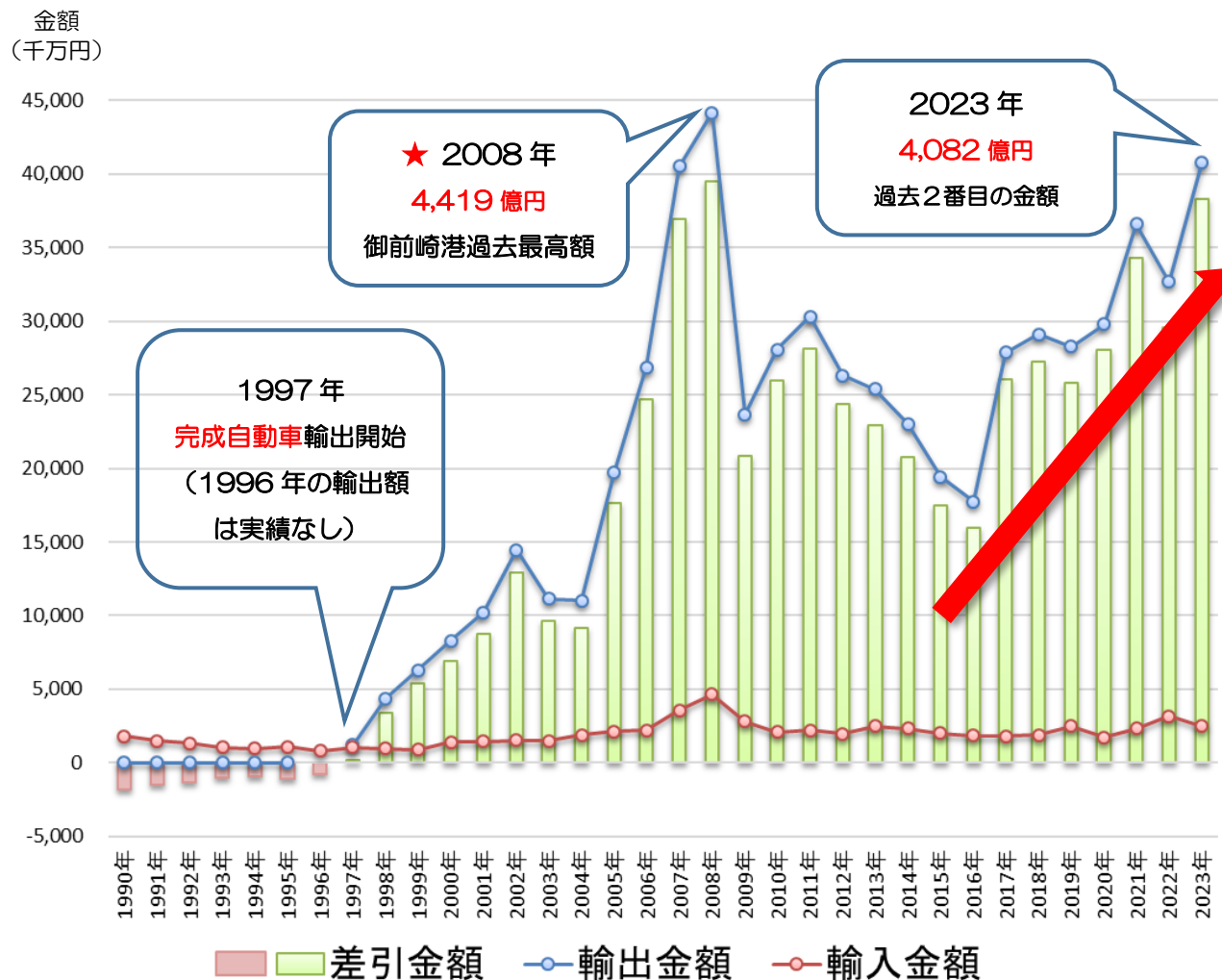
御前崎港開港 50 周年を機に市民投票で決定されたもの。御前崎市を含む静岡県内外から 4,197 の投票があり、1,328 票を獲得しました。

御前崎港開港 50 周年記念事業に活用され、今後も御前崎港振興のため各場面で利用されていく予定です。

（提供：御前崎市商工観光課 企業港湾室）

2. 御前崎港の近況

御前崎港 輸出入額の推移



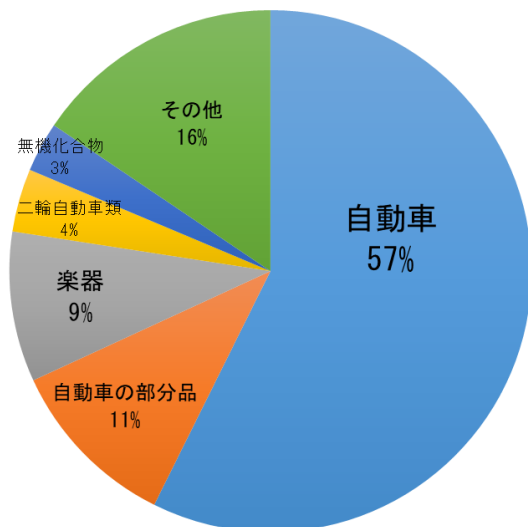
上記の表は御前崎港における輸出入額及び差引額の推移です。1997 年に完成自動車の輸出が始まるまでは、輸入超過が続いていましたが、完成自動車の輸出開始後は、輸出超過が続いています。2008 年に過去最高を記録した後、リーマンショック等の影響を受け右肩下がり金額は減少していましたが、2017 年頃から再度増加傾向に転じ、

● 2023 年は 4,082 億円と輸出額が過去 2 番目の金額

となっていることが見て取れます。

近年の御前崎港における輸出額の増加傾向は、自動車や楽器等の輸出が好調であったことが一つの要因としてあるようです。また、2024 年度中に御前崎港近郊に新たな地域高規格道路（金谷御前崎連絡道路）が開通を予定しており、更なる御前崎港の利便性の向上と共に輸出入金額の増加が期待されています。

2023 年 御前崎港における主な輸出品目（金額シェア）



自動車専用船



★県内唯一の
完成自動車取扱拠点

資料提供：静岡県御前崎港管理事務所

2023 年の御前崎港における主な輸出品目を見ると、上位 3 品目の「**自動車**」、「**自動車の部分品**」、「**楽器**」については、大規模工場が御前崎港近辺に位置していることもあり、全体の約 8 割弱を占めています。最も金額割合の大きかった自動車は、1997 年以降御前崎港における品目別金額シェアでトップを継続しており、御前崎港は県内唯一の完成自動車取扱拠点であることも特徴です。自動車は近年半導体不足等により一時的な輸出額の落ち込みがありましたが、2023 年においては、「自動車」は小型ガソリン車※1 が増加、更に、「楽器」はグランドピアノ※2 や金管楽器※2、打楽器※2 が好調でした。

2024 年上半期は、「自動車」では小型ガソリン車（1,000CC 以下含む）※3 が大きく増加しており、「自動車の部分品」にあってはギヤボックスが増加しています。「楽器」については、金管楽器が昨年に引き続き増加しています。

※1 1,000CC～1,500CC ガソリン車（HS:8703.22）

※2 グランドピアノ（HS：9201.20）、金管楽器（HS：9205.10）、打楽器（HS：9206.00）

※3 1,000CC～1,500CC ガソリン車（HS:8703.22）、1,000CC 以下ガソリン車（HS：8703.21）

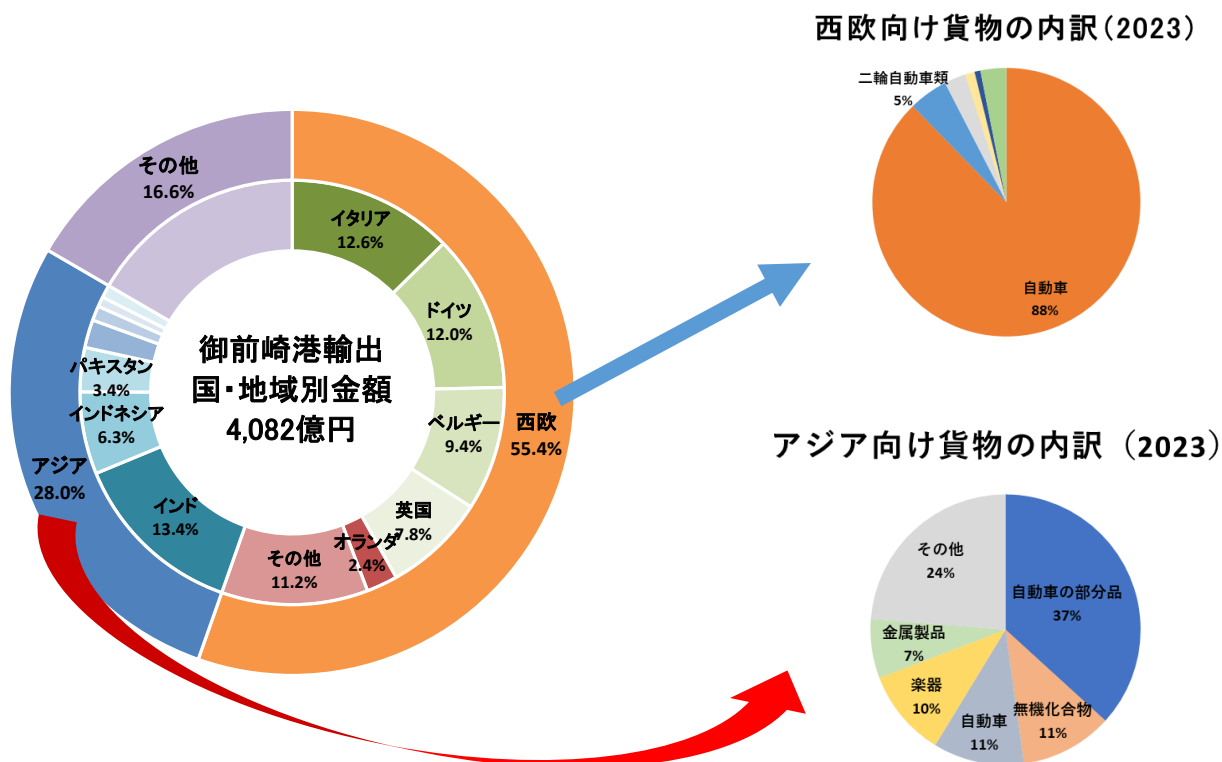
【輸出】

2023年						
品名（概況品コード）	数量	単位	前年比（％）	金額（百万円）	前年比（％）	構成比（％）
自動車（70503）	158,138	NO	128.3	234,085	178.3	57.3
自動車の部分品（70505）	23,884,437	KG	70.2	44,015	88.2	10.8
楽器（81305）				38,002	106.0	9.3
〃〃						
輸出額				408,215	124.8	100.0

【輸入】

2023年						
品名（概況品コード）	数量	単位	前年比（％）	金額（百万円）	前年比（％）	構成比（％）
鉄鋼（613）	74,892	MT	84.9	7,768	77.6	31.2
調製石油添加剤（51709）	12,141	MT	82.6	3,933	88.6	15.8
有機化合物（50101）				1,978	79.3	7.9
〃〃						
輸入額				24,926	79.1	100.0

2023 年 御前崎港 国・地域別 輸出額シェア



「御前崎港における 国・地域別輸出金額シェア」の上記グラフを見ると、西欧が約55%、アジアが約28%でした。国別にみると、イタリア、ドイツ、インド、ベルギーで全体の約47%を占めています。

MEMO

【まもなく開通】金谷御前崎連絡道路

金谷御前崎連絡道路は、新東名高速道路（島田金谷 IC）から、国道1号（菊川 IC）や東名高速道路（相良牧之原 IC）などの東西交通軸を形成する幹線道路や、「空」の窓口もある「富士山静岡空港」、そして「海」の御前崎港を南北に連結し、「陸、海、空」の交通ネットワークを形成する地域高規格道路です。

現在、全線の大半が開通済みであり、未開通区間については、2024 年度中に開通予定です。当該道路の開通により、御前崎港への新たな輸送ルートの開拓や空港や港の利用促進が期待され、更には東名高速道路が事故で不通となった場合でも、御前崎港から国道1号バイパスや新東名高速道路までの接続が容易となり有事に強いネットワークの構築が見込まれています。

オマエザキライダーにも期待されているワッ

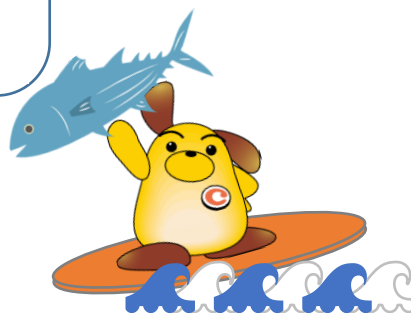
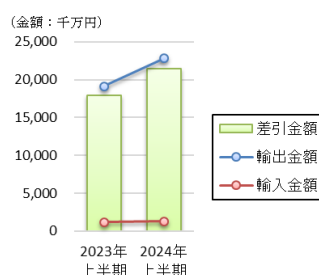


3. 今後の動向

2024 年上半期における御前崎港の輸出額は、2023 年上半期（1,914 億円）を上回るペースの 2,279 億円となっており、下半期次第で過去最高を更新する可能性があります。

今回各方面に聞きとり調査を行ったところ、御前崎港において更なる貿易の活発化に向けて、定期外航コンテナ船、定期 RORO 船への入港料や岸壁使用料の免除や減免等のインセンティブを実施していることが分かりました。静岡県最大の貿易港である清水港と比較すると小さな港ではありますが、御前崎港はアカウミガメ（天然記念物）の産卵地であることや国の重要文化財である御前崎灯台もあること、マリンスポーツも盛んであり、前述の通り新たな道路も開通予定とのことですので、輸出入貨物のみならず多方面において御前崎港の今後の更なる利用拡大が期待されています。

2024 年の上半期は 2023 年を大きく上回っているよ！
2024 年は過去最高になるかも
・・・しれないワン！！



昨年には、豪華クルーズ客船
「ウエステルダム」が外国船籍の
客船として御前崎港に初寄港しました。



写真提供：御前崎市商工観光課
企業港湾室

昭和46年！

MEMO

開港当時の御前崎港の貿易額を調べてみた

昭和46年12月

外国貿易月表

名古屋税関編

目次	
第1表	年別月別総額表.....1
第2表	輸出入品別表.....4
第3表	輸出品別表.....11
第4表	輸入品別表.....21
第5表	輸出品別品別表.....33
第6表	輸入品別品別表.....38
第7表	輸出品別品別表.....43
第8表	輸入品別品別表.....48
第9表	通商貿易表.....52
第10表	船舶品種表.....53
第11表	船舶及び航空機入港表.....54

(注) 本表を他に転載する場合は名古屋税関の資料による旨記載して下さい。

名古屋税関では、約50年前の昭和46年(1971年)の「外国貿易月表」が保管されており、そこに開港当時の御前崎港の記載があったよ。

輸出額はなんと実績がなく、
輸入額は4億円！

2023年の輸出額が4,082億円、輸入額が249億円だから、この書類からも開港後に利用拡大が着実に図られてきたことが見て取れるよ。

輸入

品目番号	品名	数量 単位	当 月		1月以降累計	
			数	価 額	数 量	価 額
	御 前 崎 総 額					432,012
第0部	食 料 品 及 び 動 物					
第1部	飲 料 及 び た ば こ					
第2部	食 用 に 適 し な い 原 材 料					432,012
第3部	鉱 物 性 燃 料					
第4部	動 植 物 性 の 油 脂					
第5部	化 学 工 業 生 産 品					
第6部	原 料 品 別 製 品					
第7部	機 械 類 及 び 輸 送 用 機 器 類					
第8部	雑 製 品					

輸入額約4億円

輸出

品目番号	品名	数量 単位	当 月		1月以降累計	
			数	価 額	数 量	価 額
	御 前 崎 総 額					
第0部	食 料 品 及 び 動 物					
第1部	飲 料 及 び た ば こ					
第2部	食 用 に 適 し な い 原 材 料					
第3部	鉱 物 性 燃 料					
第4部	動 植 物 性 の 油 脂					
第5部	化 学 工 業 生 産 品					
第6部	原 料 品 別 製 品					
第7部	機 械 類 及 び 輸 送 用 機 器 類					
第8部	雑 製 品					
第9部	特 殊 取 扱 品					

輸出額実績なし

「食用に適しない原材料」とは、
木材及びコルクや、パイプ等をさします。
当時はパルプ用材や製材用等の丸太が
輸入されていました。

資料編



～御前崎港輸出入額推移～

(千円)

年	輸出額	前年比	輸入額	前年比	差引額	前年比
1990年	6,435	19.7%	17,954,236	86.8%	-17,947,801	86.9%
1991年	41,567	646.0%	14,956,888	83.3%	-14,915,321	83.1%
1992年	130,408	313.7%	13,325,030	89.1%	-13,194,622	88.5%
1993年	42,123	32.3%	10,598,435	79.5%	-10,556,312	80.0%
1994年	35,884	85.2%	9,683,700	91.4%	-9,647,816	91.4%
1995年	76,938	214.4%	10,962,818	113.2%	-10,885,880	112.8%
1996年	-	全減	7,940,196	72.4%	-7,940,196	72.9%
1997年	12,200,684	全増	10,280,104	129.5%	1,920,580	-
1998年	43,866,070	359.5%	9,652,022	93.9%	34,214,048	1781.4%
1999年	62,943,747	143.5%	8,774,622	90.9%	54,169,125	158.3%
2000年	83,141,877	132.1%	14,116,051	160.9%	69,025,826	127.4%
2001年	101,978,615	122.7%	14,526,135	102.9%	87,452,480	126.7%
2002年	144,618,607	141.8%	15,224,994	104.8%	129,393,613	148.0%
2003年	111,275,708	76.9%	14,852,585	97.6%	96,423,123	74.5%
2004年	110,260,273	99.1%	18,946,944	127.6%	91,313,329	94.7%
2005年	197,451,150	179.1%	21,187,685	111.8%	176,263,465	193.0%
2006年	268,591,997	136.0%	22,016,239	103.9%	246,575,758	139.9%
2007年	405,276,199	150.9%	35,641,979	161.9%	369,634,220	149.9%
2008年	★ 441,891,317	109.0%	★ 46,622,415	130.8%	★ 395,268,902	106.9%
2009年	236,672,487	53.6%	28,087,219	60.2%	208,585,268	52.8%
2010年	280,918,901	118.7%	20,900,533	74.4%	260,018,368	124.7%
2011年	303,101,236	107.9%	22,098,262	105.7%	281,002,974	108.1%
2012年	263,080,390	86.8%	19,538,444	88.4%	243,541,946	86.7%
2013年	253,978,693	96.5%	24,827,853	127.1%	229,150,840	94.1%
2014年	230,455,792	90.7%	23,083,221	93.0%	207,372,571	90.5%
2015年	194,421,697	84.4%	19,919,512	86.3%	174,502,185	84.1%
2016年	177,630,517	91.4%	18,291,989	91.8%	159,338,528	91.3%
2017年	278,693,587	156.9%	18,101,540	99.0%	260,592,047	163.5%
2018年	291,069,172	104.4%	18,681,982	103.2%	272,387,190	104.5%
2019年	282,794,410	97.2%	24,817,115	132.8%	257,977,295	94.7%
2020年	298,067,421	105.4%	17,314,736	69.8%	280,752,685	108.8%
2021年	366,072,659	122.8%	23,287,901	134.5%	342,784,758	122.1%
2022年	327,018,323	89.3%	31,531,005	135.4%	295,487,318	86.2%
2023年	408,214,508	124.8%	24,925,834	79.1%	383,288,674	129.7%
2023年 上半期	191,430,520	121.9%	11,924,930	75.5%	179,505,590	127.1%
2024年 上半期	227,909,027	119.1%	13,031,985	109.3%	214,877,042	119.7%

★：1979年以降のデータと比較して過去最高を示す。

～御前崎港国別・地域別実績～

2023年			
輸出		輸入	
地理圏	金額(千円)	地理圏	金額(千円)
西欧	226,100,234	西欧	8,398,261
イタリア	51,575,882	ドイツ	6,476,895
ドイツ	48,959,793	フランス	766,970
ベルギー	38,520,857	オーストリア	407,246
英国	31,769,188	スイス	384,660
オランダ	9,695,708	スペイン	180,095
その他	45,578,806	その他	182,395
アジア	114,307,680	アジア	16,462,523
インド	54,625,050	大韓民国	4,284,227
インドネシア	25,611,421	シンガポール	3,933,471
パキスタン	13,752,276	中華人民共和国	3,837,677
中国	8,686,108	ベトナム	1,895,419
タイ	4,548,844	フィリピン	1,496,085
韓国	3,096,040	インドネシア	337,586
その他	3,987,941	その他	678,058
その他	67,806,594	その他	65,050
その他	67,806,594	その他	65,050
世界	408,214,508	世界	24,925,834

～御前崎港における西欧・アジア 輸出上位5品目【2023 年】～

西欧 【輸出】

順位	品名(概況品コード)	金額(千円)	構成比
1	自動車(70503)	198,263,298	87.7
2	二輪自動車類(70507)	10,705,180	4.7
3	楽器(81305)	5,859,758	2.6
4	原動機(70101)	2,631,137	1.2
5	自動車の部分品(70505)	1,592,054	0.7
輸出額(総額)		226,100,234	100.0

アジア 【輸出】

順位	品名(概況品コード)	金額(千円)	構成比
1	自動車の部分品(70505)	42,019,302	36.8
2	無機化合物(50103)	12,633,994	11.1
3	自動車(70503)	12,466,820	10.9
4	楽器(81305)	11,962,875	10.5
5	金属製品(615)	8,103,115	7.1
輸出額(総額)		114,307,680	100.0

【参考】静岡県内港別実績

港	2023年					
	輸出額(千円)	前年比	静岡県内比	輸入額(千円)	前年比	静岡県内比
清水	2,234,846,648	99.3%	84.2%	1,395,710,617	96.3%	95.7%
田子の浦	10,647,215	97.6%	0.4%	35,771,213	93.9%	2.5%
御前崎	408,214,508	124.8%	15.4%	24,925,834	79.1%	1.7%
静岡空港	2,160	全増	0.0%	1,460,820	全増	0.1%

【参考】年別輸出品目別金額シェア上位トップ3

完成自動車 輸出開始	1993 (H5)	その他の化学繊維		
	1997 (H9)	自動車	その他の化学繊維	金属鉱及びくず
	2023 (R5)	自動車	自動車の部分品	楽器

【協力先】

- ・スズキ株式会社
- ・ヤマハ株式会社
- ・静岡県御前崎港管理事務所
企画振興課
- ・御前崎市商工観光課 企業港湾室
(順不同)

- ・本資料は統計として比較可能な 1979 年以降のデータを基礎としています。
- ・本資料は、輸出入通関された貨物の蔵置場所を基準に集計しています。
- ・本資料における輸出入額について、2023 年以前は確定値、2024 年上半期は確報値となります。
- ・本資料の円グラフについて、四捨五入処理により総計が 100%とならない場合があります。
- ・本資料を引用する場合は、名古屋税関の資料による旨を注記してください。
- ・本資料に関するお問い合わせは、名古屋税関 調査部 調査統計課 (TEL052-654-4176) までお願いします。
また、貿易統計は名古屋税関 HP でもご覧いただけます。 << <https://www.customs.go.jp/nagoya/> >>